

2020年9月3日

検査結果報告書

株式会社ライズ 様

計量証明事業所登録 千葉県知事登録第 667 号

株式会社エージサービス

〒270-0011 千葉県松戸市根本内 345

TEL : 047-309-2011 FAX : 047-343-5406

検査責任者 山野 和之



ご依頼を受けました試料の検査について下記の通りご報告します。

記

1. 検査の目的

土壌脱臭装置の性能試験として、空中浮遊菌透過率の検証実験。

2. 試料採取場所

施設用途：高齢者向け住宅

所在地：茨城県下妻市

(1) 浄化槽内 (写真1 参照)

(2) 土壌脱臭装置通過後 (写真2 参照)



写真1. 浄化槽内



図2. 土壌脱臭装置通過後

3. 試料採取条件

採取日：2020年8月24日

天候：晴れ

気温：28℃

4. サンプルング方法

エアースンプラーに平版寒天培地を装着し、吸引量 100L/min で空気を 1 分間吸引して空中浮遊菌を培地に吸着させた。

5. 検査項目及び分析方法

①細菌・・・標準寒天平版培地にて 35℃で 2 日間培養した。

②真菌・・・ポテトデキストロース寒天平版培地にて 25℃で 7 日間培養した。

③大腸菌群・・・デスオキシコーレイト寒天平版培地にて 35℃で 2 日間培養した。

6. 検査結果

表 1. 空中浮遊菌数の測定結果[100L 当たり]

採取場所	細菌数	真菌数	大腸菌群数
浄化槽内	300 以上*1	300 以上*1	63
土壌脱臭装置通過後	46	20 以上*2	0

*1 集落過多のため、測定結果を 300 以上とした。

*2 集落過多のため、測定結果を 20 以上とした。

①細菌

浄化槽内では多数の細菌が検出されたが、土壌脱臭装置通過後では明らかに菌数が減少した。(表 1 及び写真 3, 4 参照)

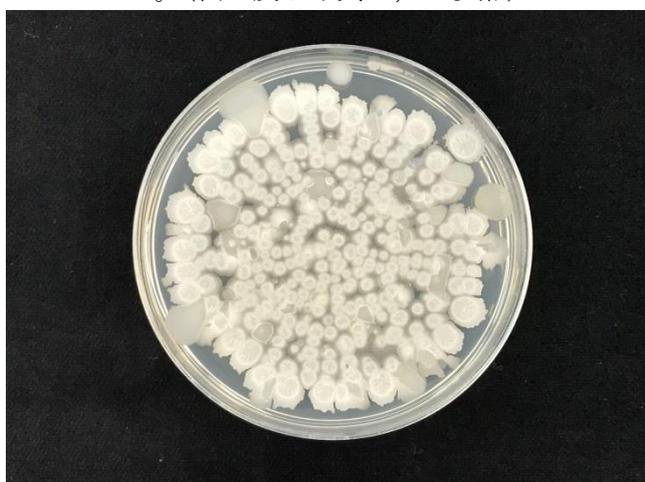


写真 3. 浄化槽内浮遊細菌培養後



写真 4. 土壌脱臭装置通過後浮遊細菌培養

②真菌

浄化槽内では多数の真菌が検出されたが、土壌脱臭装置通過後では明らかに菌数が減少した。(表1及び写真5, 6参照)

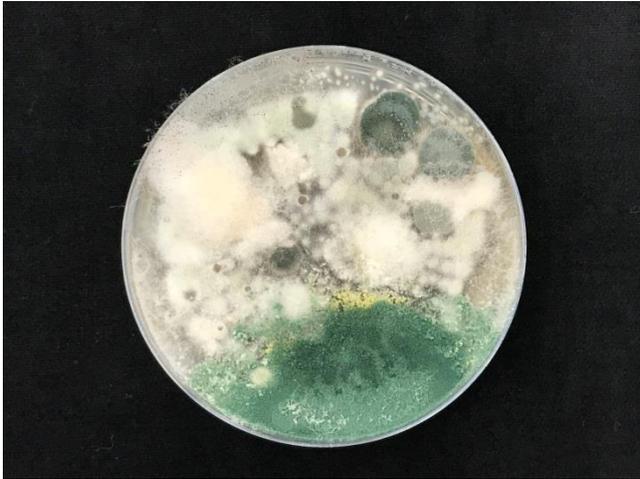


写真5. 浄化槽内浮遊真菌培養後



写真6. 土壌脱臭装置通過後浮遊真菌培養後

③大腸菌群

浄化槽内では数十個の大腸菌群が検出されたが、土壌脱臭装置通過後では検出されなかった。

(表1及び写真7, 8参照)

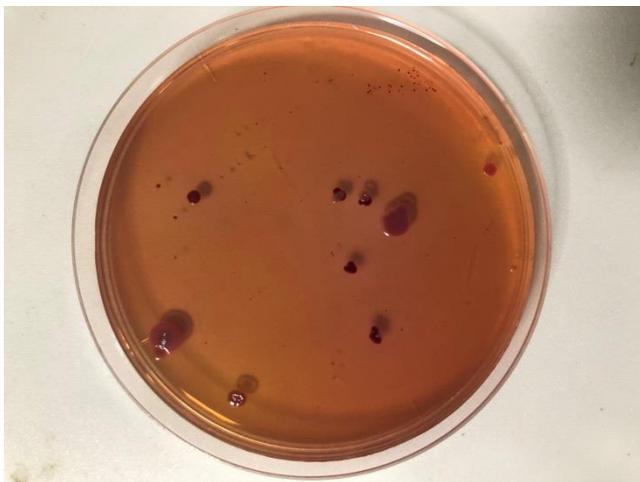


写真7. 浄化槽内浮遊大腸菌群培養後

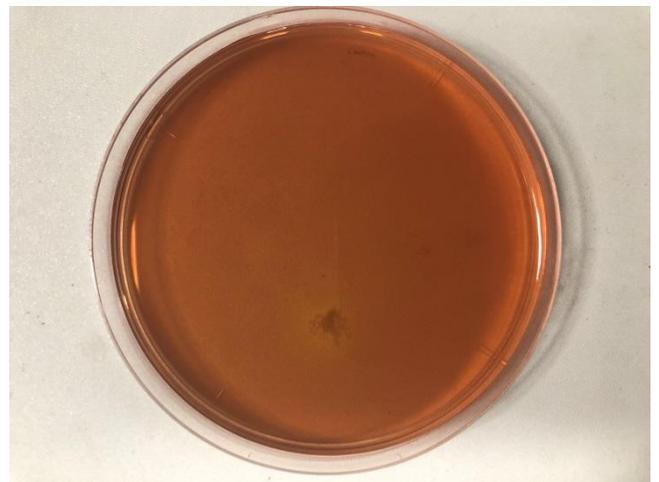


写真8. 土壌脱臭装置通過後浮遊大腸菌群培養後

7. 考察

細菌及び真菌の結果より、どちらの菌も浄化槽内だけではなく屋外空気中にも存在するので、検出されたコロニーの一部または全部が屋外空気に起因する菌である可能性を考慮すると、浄化槽内から土壌脱臭装置を透過する菌数はかなり少ないと考えられる。

また、大腸菌群が浄化槽内では検出され、土壌脱臭装置通過後には検出されていないことから、浄化槽内の菌類は土壌脱臭装置を殆ど透過しないものと考えられる。

以上